実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

4年制　スーパーeエンターテイメント科(昼間II部)

文化・教養専門課程　スーパーeエンターテイメント科(昼間 II 部) 2023年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		パフォーマンス	ミュージシャン・パフォーマーとして大切な基礎の知識と技術を学び、現場に活かすためのトレーニング方法を習得。 また、外化をすることで他者とのコミニケーションをはかるスキルも習得。	1・前期	150	10	○	○		○			○	
	○		パフォーマンス	ミュージシャン・パフォーマーとして大切な基礎の知識と技術を学び、現場に活かすためのトレーニング方法を習得。 また、外化をすることで他者とのコミニケーションをはかるスキルも習得。	1・後期	150	10	○	○		○			○	
	○		パフォーマンスプロジェクト	プロジェクトを通して自身の役割を理解し、演奏方法やパフォーマンス、現場対応力などのスキルを習得する。	1・前期	60	4	○	○		○			○	
	○		パフォーマンスプロジェクト	プロジェクトを通して自身の役割を理解し、演奏方法やパフォーマンス、現場対応力などのスキルを習得する。	1・後期	60	4	○	○		○			○	
					計	420	28								
省令で定める基準授業時数					320 単位時間										

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

３年制　音楽テクノロジー科(昼間Ⅰ部)

文化・教養専門課程　音楽テクノロジー科(昼間Ⅰ部) 2023年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コンピューターミュージックⅠ	楽曲を制作する基礎とサウンドメイクの知識を習得する。基礎となるリズムパートやポピュラーミュージックで多用される楽器の基礎・特性などについて知識を習得し、プログラミング実習を行う。	1・前期	60	4	○	○		○			○	
○			コンピューターミュージックⅠ	楽曲を制作する基礎とサウンドメイクの知識を習得する。基礎となるリズムパートやポピュラーミュージックで多用される楽器の基礎・特性などについて知識を習得し、プログラミング実習を行う。	1・後期	60	4	○	○		○			○	
○			レコーディングⅠ	レコーディングを行って行く上での基礎を実際にその知識が必要となる場面を交え、難しい取説や回路図など使わずにスキルを習得する。	2・前期	60	4		○		○			○	
○			レコーディングⅠ	レコーディングを行って行く上での基礎を実際にその知識が必要となる場面を交え、難しい取説や回路図など使わずにスキルを習得する。	2・後期	60	4		○		○			○	
					計	240	16								
省令で定める基準授業時数					240単位時間										

３年制　音楽テクノロジー科(昼間 II部)

文化・教養専門課程　音楽テクノロジー科(昼間II部) 2023年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		発声・滑舌	鮮明に発音するために欠くことのできない母音から腹式呼吸、口の開き方まで基本的な発声と調音を学びます。 そして自分のセンター(中心線)を知り、真っ直ぐに立てるようになる。相手(共演者、観客)に届く声が出るようにします。	3・前期	60	4	○	○		○			○	
	○		発声・滑舌	鮮明に発音するために欠くことのできない母音から腹式呼吸、口の開き方まで基本的な発声と調音を学びます。 そして自分のセンター(中心線)を知り、真っ直ぐに立てるようになる。相手(共演者、観客)に届く声が出るようにします。	3・後期	60	4	○	○		○			○	
	○		ダンス&ヴォーカル	ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。	3・前期	60	4	○	○		○			○	
	○		ダンス&ヴォーカル	ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。	3・後期	60	4	○	○		○			○	
					計	240	16								
省令で定める基準授業時数					240単位時間										

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

２年制　商業音楽科(昼間Ⅰ部)

文化・教養専門課程　商業音楽科(昼間Ⅰ部)2023年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		PA実習	PAとして必要な知識、機材名、用語を習得する。マイクに音が入ってスピーカーから音が出るまでの信号の流れを基本から仕込み、音出しチェックまでを反復して習得する。	1・前期	90	6		○		○			○	
	○		PA実習	PAとして必要な知識、機材名、用語を習得する。マイクに音が入ってスピーカーから音が出るまでの信号の流れを基本から仕込み、音出しチェックまでを反復して習得する。	1・後期	90	6		○		○			○	
					計	180	12								
省令で定める基準授業時数					160単位時間										

２年制　商業音楽科(昼間Ⅱ部)

文化・教養専門課程　商業音楽科(昼間Ⅱ部)2023年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ステージライティング	照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。	1・前期	90	6		○		○			○	
	○		ステージライティング	照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。	1・後期	90	6		○		○			○	
					計	180	12								
省令で定める基準授業時数					160単位時間										

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

２年制　プロミュージシャン科(昼間Ⅰ部)

文化・教養専門課程　プロミュージシャン科(昼間Ⅰ部)2023年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			楽器演奏I	鍵盤楽器の基礎知識を身につける。鍵盤に慣れることによって、音楽理論・イヤートレーニング等の理解度を向上させ、理論と実習という並行学習を行う。弾き語りの技術 習得。	1・前期	60	4	○	○		○			○	
○			楽器演奏II	鍵盤楽器の基礎知識を身につける。鍵盤に慣れることによって、音楽理論、イヤートレーニング等の理解度を向上させ、理論と実習という並行学習を行う。弾き語りの技術 習得。	1・後期	60	4	○	○		○			○	
	○		ヴォーカルレッスンI	ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。	1・前期	60	4	○	○		○			○	
	○		ヴォーカルレッスンⅡ	ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。	1・後期	60	4	○	○		○			○	
					計	240	16								
省令で定める基準授業時数					160単位時間										

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

２年制　ダンス&アクターズ科(昼間I部)

文化・教養専門課程　ダンス&アクターズ科(昼間I部)2023年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		HIP HOP	音表現のメカニズム、リズムとタイミングとニュアンス、グルーヴとノリの出し方、身体の動かし方、どのパーツをどのような状態でどのように動かすかを身につけることができる。	1-2・前期	60	4		○		○			○	
	○		HIP HOP	音表現のメカニズム、リズムとタイミングとニュアンス、グルーヴとノリの出し方、身体の動かし方、どのパーツをどのような状態でどのように動かすかを身につけることができる。	1-2・後期	60	4		○		○			○	
	○		ジャズダンス	基礎トレーニング、クロスフロアを行いながら、振付ではどう踊り、身体をどう使えばどう見えるのか、主観的にだけではなく、客観的に見る習慣をつけ、動きの中で意識出来ることを習得する。	2・前期	60	4		○		○			○	
	○		ジャズダンス	基礎トレーニング、基礎テクニックの練習を主体に、踊り方の面でも高い表現力を身に付ける為に、目線、重心、表情、緩急、様々な所に注意しながら繰り返し練習し、身につける。	2・後期	60	4		○		○			○	
					計	240	16								
省令で定める基準授業時数					160単位時間										

２年制　ダンス&アクターズ科(昼間II部)

文化・教養専門課程　ダンス&アクターズ科(昼間II部)2023年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		発声・滑舌	鮮明に発音するために欠くことのできない母音から腹式呼吸、口の開き方まで基本的な発声と調音を学びます。 そして自分のセンター(中心線)を知り、真っ直ぐに立てるようになる。相手(共演者、観客)に届く声が出るようにします。	1・前期	60	4	○	○		○			○	
	○		発声・滑舌	鮮明に発音するために欠くことのできない母音から腹式呼吸、口の開き方まで基本的な発声と調音を学びます。 そして自分のセンター(中心線)を知り、真っ直ぐに立てるようになる。相手(共演者、観客)に届く声が出るようにします。	1・後期	60	4	○	○		○			○	
	○		DJ・アナウンス	アナウンスメント(告知・発表)は、あらゆる表現に通じる基礎的技術のひとつです。この授業では、様々な種類の原稿読みを通して、アナウンスメントを理解し、表現能力を高めます。	2・前期	60	4	○	○		○			○	
	○		DJ・アナウンス	声を使う仕事をする者にとって必要な、原稿を読むという基本を繰り返し練習することでしっかり身に着ける。	2・後期	60	4	○	○		○			○	
					計	240	16								
省令で定める基準授業時数					160単位時間										